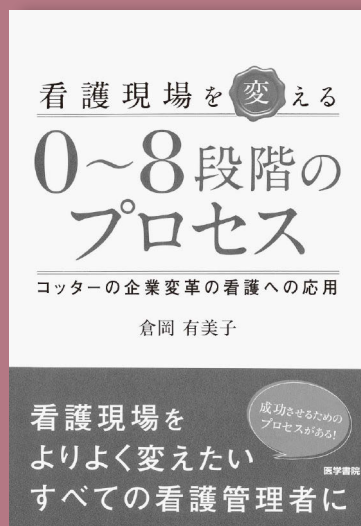


書評

看護現場を変える 0～8 段階のプロセス

コッターの企業変革の看護への応用



- 著 倉岡有美子
- 定価 2500 円＋税
- 発行 医学書院

評者

学校法人聖マリアンナ医科大学
川崎市立多摩病院
医療安全管理室副室長
佐々木菜名代

変革に対する期待と 「ワクワク感」を与えてくれる 1 冊

本書は、日々悩み、臨床で起きる問題と格闘する看護管理者に「看護現場での変革成功への道しるべ」としてぜひお薦めしたい。「問題解決のために現場を変えなければいけないけれど、何から手をつけたらよいのか分からない」——そんなとき本書を手に入れば、問題山積で混沌とした状況の向こう側に光明を見出せることは間違いない。

著者は大学院で看護管理学を専攻し、公立病院の看護師長として数々の変革を成し遂げた経験を持つ。また、大学教員としてさまざまな看護管理者教育にも携わってきた。米国ハーバードビジネススクール教授（現・名誉教授）のジョン・P・コッターの影響を受けた著者は、「リーダーシップ＝変革」と捉えており、看護管理者教育においてもコッターの企業変革の理論を取り入れた。

授業では、受講者が自分自身の現場における変革計画を立案し、発表、意見交換が行われた。また、授業以外でも、変革計画について数多くの悩める看護管理者の個別コンサルテーションを行ってきた。そのような経験から著者は、「コッターの企業変革の理論は看護現場に応用することができ、かつ、成果をあげられる」との手応えを得て、本書の執筆に至った。

コッターは変革の成功事例に共通した特徴を見出し、変革を 8 つの段階に整理した。コッターの企業変革は一般企業を対象としていることから、著者はこれを看護現場に合うようにアレンジした。また、その表現は以下のように、読者に問いかける形になっていることから、読者がその問いに答えていくことで、変革がうまく進んでいくしくみになっている。

第 1 段階：危機意識を高める

→問題と思っているのはあなただけではないですか？

第 2 段階：変革推進チームをつくる

→味方はいますか？

第 3 段階：適切なビジョンをつくる

→あなたが変革したいことを分かりやすい言葉で表現できていますか？

第 4 段階：変革のビジョンを周知徹底する

→あなたが改善したいことを周りの人は知っていますか？

第 5 段階：従業員の自発的な行動を促す

→周りの人たちもやる気になっていますか？

第 6 段階：短期的な成果を生む

→取り組んでみたことで変化はおきましたか？

第 7 段階：さらに変革を進める

→なかだるみしていませんか？

第 8 段階：変革を根づかせる

→いつのまにか、元のやり方に戻っていませんか？

さらに、変革（これまでのやり方と何かを変えること）とは、「問題（＝変革すべきこと）の明確化＋解決策の立案・実施・定着」であると考える著者は、第 0 段階として「問題の証拠を集める→本当に変革すべき問題なのですか？」を加えた。本書では、この「看護現場での変革を成功に導く 0～8 段階のプロセス」が、看護管理者が日常体験する身近な事例を用いながら解説されている。

解説にある事例は、著者自身や著者が関わった看護管理者の現場における生の体験であることから、1 つの物語として引き込まれ、事例を読み進めることで、変革成功の疑似体験をしたような感覚さえ得ることができた。

本書は、問題に立ち向かうとしていく看護管理者にとって、「変革の道しるべ」となるだけでなく、変革に対する不安や緊張、不確かさをはるかにしのぐ、期待と変革に取り組む「ワクワク感」を与えてくれるであろう。